



アマビエ ~疫病封じのお守り~

江戸時代後期の弘化3（1846）年、肥後国（熊本県）に現れたという話が、瓦版に挿絵つきで紹介されている。

毎夜、海に光る物体が出没していたため、役人が赴いたところ姿を現し、「私は海に住むアマビエと申す」と名乗った。「これより6年間は豊作が続くが、疫病も流行する。私の姿を描き写した絵を人々に見せよ」と告げ、海の中へと帰って行ったという。以来、疫病封じのお守りとして全国に広まった。

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

厚生労働省

日曜美術館 NHK-Eテレ

「疫病をこえて、人は何を描いてきたか」

2020.4.19(日) 9:00~

4.26(日) 20:00~ (再放送)